

歳出の総額は39.8億円

43億8,046万9千円

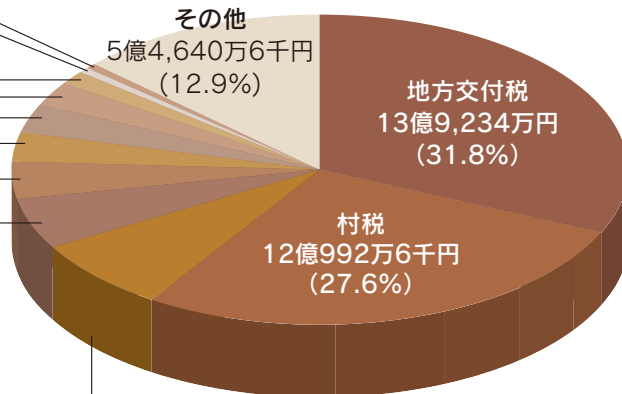
歳入

村税の内訳

村税の総額は12億992万6千円。村民1人当たりに換算すると16万3,415円の税収がありました。

■ 村民税	4億2,605万4千円
■ 固定資産税	7億1,416万1千円
■ 軽自動車税	3,374万7千円
■ たばこ税	3,573万7千円
■ 入湯税	22万7千円

分担金及び負担金	3,339万3千円(0.6%)
諸収入	5,230万4千円(1.2%)
地方譲与税	1億1,586万7千円(2.6%)
地方消費税交付金	1億3,270万3千円(3.0%)
村債	1億5,183万7千円(3.2%)
繰越金	1億6,200万円(3.7%)
国庫支出金	2億3,897万5千円(5.5%)
県支出金	3億1,854万6千円(7.3%)
使用料及び手数料	2,617万2千円(0.6%)
その他	5億4,640万6千円(12.9%)



歳出

39億8,378万5千円

議会費 6,882万円(1.7%)

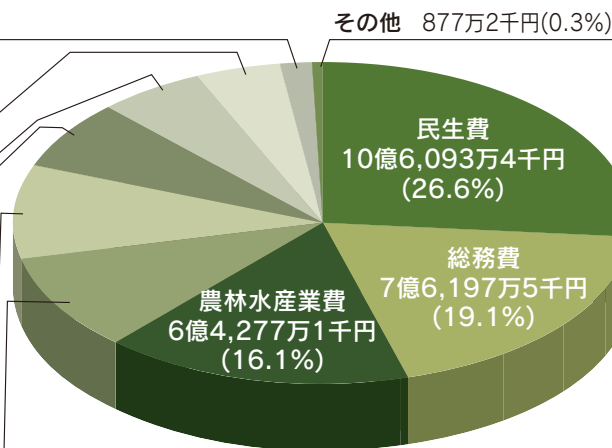
消防費 1億7,952万7千円(4.5%)

衛生費 2億1,763万1千円(5.5%)

公債費 2億7,952万4千円(7.0%)

教育費 3億7,782万5千円(9.5%)

土木費 3億8,600万6千円(9.7%)



性質別の歳出

区分	歳出額
人件費	7億5,818万5千円
物件費	6億2,078万9千円
維持補修費	1億1,238万7千円
扶助費	4億6,242万2千円
補助費	5億9,097万円
普通建設事業費	4億4,664万6千円
災害復旧事業費	1万6千円
公債費	2億7,952万4千円
積立金	1億2,897万4千円
繰出金	5億8,387万2千円
計	39億8,378万5千円

特別会計決算

30年度特別会計の決算を紹介します。(％は前年度比)

国民健康保険特別会計

歳入	12億7,154万9千円	▲11.6%
歳出	12億3,288万3千円	▲9.3%

簡易水道事業特別会計

歳入	1億7,654万9千円	14.0%
歳出	1億5,809万9千円	22.7%

介護保険特別会計

歳入	8億3,789万円	2.5%
歳出	8億168万1千円	1.1%

農業集落排水事業特別会計

歳入	3億1,952万7千円	1.8%
歳出	3億357万7千円	5.4%

後期高齢者医療特別会計

歳入	8,398万7千円	2.5%
歳出	8,124万円	1.2%

平成30年度 決算の概要

平成30年度は、昭和村施行60周年の節目を迎え、皆さんと共に祝典を開催し、祝うことができました。こうした中、昭和村の中長期的な将来を見据え、平成30年度も第5次総合計画のもと、「子育て・生活環境」「安心安全」「社会保障」の向上を主眼に、各種施策の選択を行いながら、節度ある財政運営に努めました。

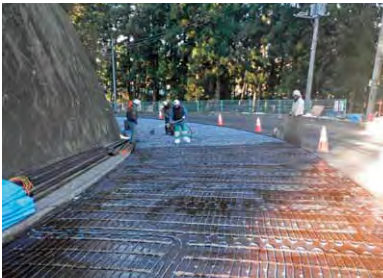
一般会計での歳入総額は43億8,046万9千円で、前年度の基金の積み替え分を除いた前年度比は7.4%の減。歳出総額は39億8,378万5千円で、積み替え分を除いた前年度比は8.8%の減となりました。

財政構造としては、固定資産税の増収により自主財源の構成比は45.2%と、前年度より6.6%の増となっていますが、依然として地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ない状況です。

村のお金の使い道

こんな事業を行いました

村道古宮追分線ロードヒーター
修繕工事 4,092万1千円



ふわふわドーム外膜張り替え
工事 648万円



小中学校エアコン設置事業
(設計含む) 4,163万4千円



防災行政無線難聴地区解消
工事 787万3千円



望郷ライン舗装工事
4,295万2千円



学童保育委託事業
2,834万6千円



村の地方債および基金の現在高をお知らせします

地方債等現在高

項目	平成29年度	平成30年度	差し引き
一般会計	27億9,637万4千円	26億8,289万6千円	▲1億1,347万8千円
簡易水道事業	3億367万7千円	2億7,906万6千円	▲2,461万1千円
農業集落排水事業	17億5,703万4千円	16億542万9千円	▲1億5,160万5千円
戸別浄化槽事業	1億3,117万4千円	1億2,810万8千円	▲306万6千円
債務負担行為	5,131万5千円	635万1千円	▲4,496万4千円

基金現在高

項目	平成29年度	平成30年度	差し引き
財政調整基金	16億8,807万6千円	16億8,984万9千円	177万3千円
学校校舎建築基金	5億5,402万1千円	5億7,221万5千円	1,819万4千円
減債基金	3億2,388万6千円	3億2,393万9千円	5万3千円
公共事業整備基金	11億8,000万円	11億8,026万5千円	26万5千円
その他	10億5,370万7千円	10億7,599万3千円	2,228万6千円
計	47億9,969万円	48億4,226万1千円	4,257万1千円

平成30年度決算財政の健全化判断比率等

財政健全化判断比率

判断比率項目	平成29年度	平成30年度
実質赤字比率	-	-
連結実質赤字比率	-	-
実質公債費比率	5.0	5.6
将来負担比率	-	-

実質赤字額、連結赤字額がないため、また将来負担比率はマイナスとなったため「-」と表記しています。

資金不足比率

特別会計名	平成29年度	平成30年度
簡易水道事業	-	-
農業集落排水事業	-	-

黒字であるため、資金不足比率は「-」で表記しています。